

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100034
事業所名	グループホーム燦むつみ

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域の行事が中止となり、地域住民と顔を合わせる機会は減っている。利用者が参加できる行事が無く、交流する場が持てていないことを、地域の人達が気にかけてくれている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議の開催方法に関するアンケートで意見をもらい、それも参考に、感染状況をみながら、対面開催・書面開催を決めている。書面開催をするときにも意見をもらい、その改善点等を回答して報告している。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	コロナ禍以前のように、積極的に行政に出向いて話をすることはできないが、法人として市の取組みに協力している。地域包括支援センターとも連携して、認知症理解の様々な活動を行っている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族面会の制限を継続しているが、家族は理解しており、電話等でコミュニケーションが取れるよう工夫している。法人で実施しているアンケートの結果を真摯に受け止め、改善に努めている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

令和4年5月は対面で運営推進会議を行い、それ以外は感染症対策のため、書面開催としている。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								